

## 「藤枝での2年間の初期研修を振り返って」



### 2年次 水谷 周平

2年間の研修生活があっという間に終わってしまい、間もなく後期研修が始まろうとしています。

研修医になりたての頃を振り返ってみると、初めての当直で、2年目のそばで手取り足取り指導いただきながら、訳もわからず乗り切ったこと、採血業務で初めて人に針を刺した時のこと、コンサルが無茶苦茶で跳ね返されたこと、色々思い出されることがあります。

当時の自分と今の自分を比較してみると、少しは成長できたのかなと感じられることが多々あります。そういった成長を実感できたことが、研修医としての生活が非常に充実しているように思います。

気分が落ち込む時や、投げ出したいくなるような時もありましたが、それを乗り越えられたのはコメディカルの方々や上級医、研修センターの方々、何より研修医同期の支えがあったからだと思えます。

これから仕事をしていく上で、藤枝で研修医として過ごした2年、初心を忘れず邁進できればと思います。

来年は泌尿器科として浜松医科大学病院で勤務することになります。またお世話になることがあれば、よろしく願います。



### 2年次 村松 恭祐

2年間の藤枝での研修に関して様々な場面、たくさんの人に支えられて無事終えられたこと、ここで感謝申し上げます。

僕はかつて高校生の時に、祖父のくも膜下出血後に生じた認知機能障害を見て神経の道を志しましたが、大学時代はあまり人とも触れ合わず研究室に籠って鬱々と研究していました。新しい知見を発見したいがあまり、その対象に目が向かなかっただと思います。一体自分が何を目標しているのか、もやもやとした気持ちが続いたまま卒業しました。

しかし藤枝に来て、患者に寄り添う医師やメディカルスタッフの姿を見ました。神経一辺倒でも何もない僕を支えてくれた同期の優しさも感じました。今後どんな道に進もうとも、僕は"優しくありたい"と、目標が一つ増えました。東京でもこの暖かくなった心でどこまで頑張れるかは分かりませんが、微力を尽くしたいと思っています。どこかで出会ったら話しかけて、また暖めてください。

初期研修修了おめでとうございませす！

新天地での活躍を期待しています！